

1月9日(金)
～11日(日)

「まるごと郡上フェア」大盛況!!

—市内のマスコットキャラクターも参加 一宮市 イオン木曾川店—

郡上市の魅力ある特産品の紹介と販路拡大、ウインターリゾート郡上の観光PRを目的とした物産展「まるごと郡上フェア」が、一宮市のイオン木曾川店で3日間開催されました。フェアには、郡上の業者15社がスイーツ、鶏ちゃん、カレー、ハム、地酒など約200品目を出展。各出展業者は商品を熱心にPRし、売り込



▲大勢のお客さんで賑わう会場の様子



▲子どもたちに囲まれるマスコットキャラクター

んでいました。今回は工業品や化粧品などのコーナーを新たに設け販売しました。特産品と観光PRがコラボしたフェアは、好評で期間中多くの来場者で賑いました。

イベントには、郡上良良ちゃんをはじめ市内のゆるキャラも登場し、子どもたちの人気を集めていました。

1月15日
(木)

郡上市も全力で子育てを応援

—ぎふっこ応援宣言—

少子化対策の取り組みの推進をめざし、各自治体のトップが決意を示す「ぎふっこ応援宣言」が行われました。郡上市では「日本一住みたいまち、子育てしやすいまちを実現します」を宣言したのぼり旗を県のマスコットキャラクター「ミナモ」に手渡しました。



▲宣言したのぼり旗をミナモに手渡す日置市長

1月17日
(土)

親子で楽しくスキー教室

—親子ふれあいスキー教室を開催—



▲一生懸命に練習する子どもたち

郡上市教育委員会主催による親子ふれあいスキー教室が市内スキー場2会場で開催されました。教室は3日間で、それぞれ行い親子約25人が参加しました。子どもたちは、雪上での歩き方や滑り方、止まり方など基本的なことから学び、親子で楽しくスキーを楽しみました。

1月20日(火)
・2月1日(日)

大寒の日、郡上本染鯉のぼりが鮮やかに輝く

—郡上本染 鯉のぼり寒ざらし、八幡小学校児童がふるさと学習—

郡上八幡の冬の風物詩「郡上本染 鯉のぼり寒ざらし」が小駄良川で行われ、河川敷では、大勢の観光客らが訪れて、伝統技法を見守りました。

また、郷土の伝統文化を学ぶふるさと学習の一環として、八幡小学校の4年生が「鯉のぼり製作」を行い、渡辺染物店（八幡町）の職人さんや郡上本染後援会のみな



▲多くの観光客や報道陣の前で行われた様子



▲伝統の技法を体験する児童のみなさん(1/20)

んの指導により、1月16日に糊置き、20日の色付けを経て、2月1日には児童たちが「おたま」や「はけ」を使って、鯉のぼりに付いたもち糊を洗い流しました。鯉のぼりは同店で仕上げられ、3月中に学校へ届けられることとなっています。

1月21日
(水)

女性目線の農業振興を語る

—岐阜県女性農業経営アドバイザー郡上地区—

岐阜県女性農業経営アドバイザー郡上地区会員が日置市長と農業について語り合う「郡上市長と語る会」が大和庁舎で開催されました。JAめぐみの、岐阜県郡上農林事務所、市職員らが出席し、女性の目線から見た郡上市の農業振興などについて活発な意見交換が行われました。



意見交換を行う女性農業経営アドバイザーのみなさん

2月4日
(水)

いつまでもお元気で

—長寿者褒賞(100歳)—



野村鶴子さん
(高鷲町大鷲)

野村鶴子さんが入所されている特別養護老人ホームアットホームしりと(白鳥町)へ、鈴木副市長がお祝いに訪れ、お祝い状や花束を手渡し「100歳おめでとうございます。ひ孫さんに囲まれて幸せですね」と語りかけると、野村さんは「ありがとうございます」と述べられました。

2月5日
(木)

短歌詠み2万首の頂点に

—NHK全国短歌大会ジュニアの部大会大賞—

短歌を詠み大会大賞に選ばれた日置陸斗さん(大和西小学校6年生)が、青木教育長に喜びの受賞報告を行いました。大会大賞の短歌は「かべまではあと一かきでたどり着く クロールの手をぐぐっとのばす」です。昨年夏の学校での水泳で3級に上がったときの泳ぎを表現したそうです。



喜びの受賞報告をする日置さん

2月6日
(金)

厚生労働大臣表彰を受賞

—調理業務功労者—



日置市長に受賞報告をされた林さん

調理業務功労者として、厚生労働大臣表彰を受けた郡上調理師会長の林健吉さん(大和町)が日置市長へ受賞の報告をされました。林さんは、調理師の資質向上や組織活動など長年取り組んできたことが評価されました。日置市長は「これからも食の祭典等でさらにご協力をいただきたい」と話しました。

2月6日
(金)

消防車両を更新

—水槽付消防ポンプ自動車運用開始—

郡上中消防署(八幡町)に水槽付消防ポンプ自動車を導入し、運用開始の報告を市役所前で日置市長に行いました。この車両は「圧縮空気泡消火装置」を初めて搭載し、少量の水で高い消火効果が得られるため、水源の少ない地域や高速道路での消火活動に有効です。水槽には、2千リットルの水を積載できます。



日置市長に運用の開始報告をする様子

2月9日
(月)

寸劇を交え解決策を提案

—クエストカップ2015全国大会に出場—



練習の成果を発表した生徒のみなさんと熊崎先生

企業が与えた課題の解決策を全国の中高生が考えて発表する「クエストカップ2015全国大会」に郡上北高等学校ビジネスコースの生徒5人が「20年後の食の危機」をテーマに出場するため、校長室で練習の成果を発表しました。大会は、2月21日(土)法政大学(東京都)で行われました。